

## 操作手順

### A:フォーマット編集

はじめに、どのような帳票を認識させるかをフォーマット編集画面で定義します。フィールド(認識する領域)の選択や属性(活字/手書き/バーコード/QRコード/チェックマーク/オーバーライトチェックマーク)を設定し、フォーマットを作成・保存します。  
※フォーマットとは、帳票テンプレートのことです。

### B:一括認識の設定

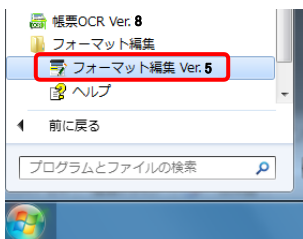
一括認識を実行する前に、フォーマットの選択、画像の入力方法、画像編集、画像保存、認識結果の出力・保存設定を行います。

### C:一括認識実行

## 操作手順A:フォーマット編集

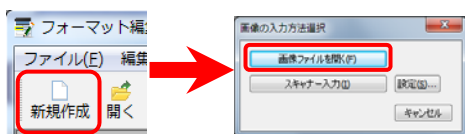
### 1 フォーマット編集を起動する

本ソフトウェアに付属している編集ソフト[フォーマット編集]を起動します。  
[スタート]-[すべてのプログラム]-[帳票OCR]-[フォーマット編集]-[フォーマット編集 Ver.5]をクリックします。



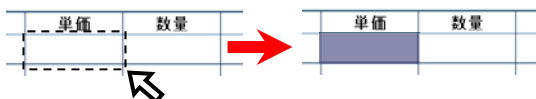
### 2 画像ファイルを読み込み

[新規作成]をクリックし、「画像の入力方法選択」ダイアログボックスの「画像ファイルを開く」をクリックして認識する帳票の画像を選択します。  
※画像データには、未記入の帳票をお使いください。



### 3 フィールドを作成する

OCR処理する領域をマウスでドラッグして囲み、フィールドを作成します。  
※マウスで選択範囲を指定する際は、必ず罫線の外側を囲んでください。



#### 便利機能

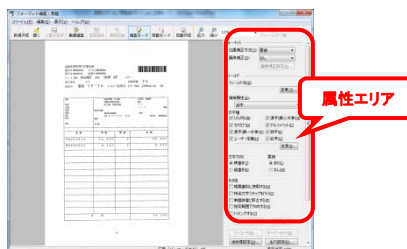
#### ■ダブルクリックで作成

1つの枠に1つのフィールドを作成する場合は、枠内をダブルクリックしてフィールドを作成できます。



### 4 属性を設定する

属性エリアで、作成したフィールド内の属性を設定します。属性変更したいフィールドをクリックし、属性エリアの設定値を変更します。



入力する文字の領域属性(活字/手書き/活字または手書き/バーコード/QRコード/チェックマーク/オーバーライトチェックマーク/キーボード入力)ごとに、文字種、文字方向、罫線の有無などの属性を設定します。  
※その他の設定に関しましては、ヘルプをご参照ください。

#### ポイント

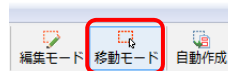
認識する文字に合わせて、「ひらがな」、「カタカナ」、「数字」などの文字種を設定することで、認識精度が向上します。

必要なフィールドすべてに、3、4の操作手順を繰り返して属性を設定します。

#### 便利機能

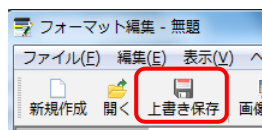
#### ■移動モードで作成済みのフィールドの編集

[移動モード]をクリックします。移動モードではフィールドのコピー&ペースト、移動、サイズの変更ができます。



### 5 フォーマットを保存する

[上書き保存]をクリックし、フォーマットファイルとして保存します。



⇒次は帳票の認識を行います。  
「操作手順B:一括認識の設定」へ

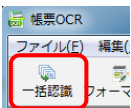
## 操作手順B:一括認識の設定

### 1 帳票OCR Ver.8を起動する

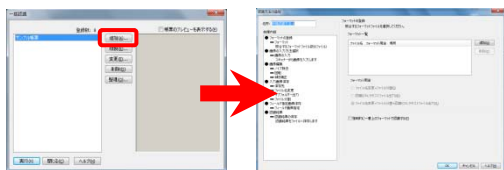
[スタート]-[すべてのプログラム]-[帳票OCR]-[帳票OCR Ver.8]をクリックします。

### 2 一括認識ダイアログボックスを表示する

[一括認識]をクリックします。

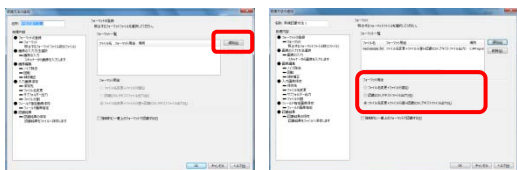


「一括認識」ダイアログボックスが表示され、左側のリストボックスに現在の設定の名称が表示されます。新規の認識方法の処理内容を設定するには[追加]をクリックし、「認識方法の追加」ダイアログボックスで設定します。



### 3 フォーマットを選択する

「認識方法の追加」ダイアログボックスで、[追加]をクリックし、作成したフォーマットを選択します。



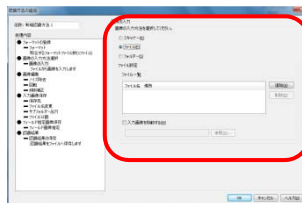
フォーマット用途: フォーマットの用途(タイプ)を選択します。

- ファイル名変更+ファイル分割  
ファイル名変更とファイル分割を目的としたフォーマットタイプ
- 認識(CSV、テキストファイル出力)  
認識結果出力を目的としたフォーマットタイプ
- ファイル名変更+ファイル分割+認識(CSV、テキストファイル出力)  
ファイル名変更とファイル分割と認識結果出力を目的としたフォーマットタイプ

### 4 画像の入力方法を選択する

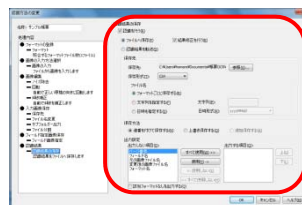
画像の入力方法選択項目でOCR処理を行う画像の入力方法を選択します。

- スキャナー  
スキャナーから画像を入力します。
- ファイル  
指定した画像ファイルを入力します。[追加]-[画像ファイルを開く]で画像を選択すると、選択した画像のファイル名と保存場所がファイル一覧に表示されます。
- フォルダー  
指定したフォルダー内に保存されている画像を読み込みます。



### 5 認識結果の保存先、ファイル名を指定する

認識結果項目で認識結果の保存先やファイル名を指定します。



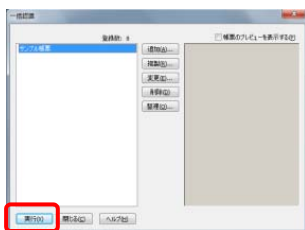
- 結果修正を行う  
チェックボックスをオンにすると、一括認識終了後に認識結果の編集修正ができます。
- 保存先  
認識結果のCSV、テキストファイルの保存先を指定します。
- ファイル名  
認識結果のCSV、テキストファイルのファイル名を設定します。
- 保存方法  
認識結果のCSV、テキストファイルの保存方法を指定します。
- 出力設定  
認識結果のCSV、テキストファイルに追加出力する内容を指定します。

⇒次は一括認識を実行します。  
「操作手順C:一括認識の実行」へ

## 操作手順C:一括認識の実行

### 1 一括認識を実行する

[実行]をクリックします。



### 2 認識結果の確認修正を行う

操作手順B[5.認識結果の保存先、ファイル名を指定する]で[結果修正を行う]チェックボックスをオンにすると、一括認識終了後に認識結果の確認修正ができます。

